

平成23年度事業報告

公益財団法人 秋田県体育協会

◆ 重 点 目 標

「スポーツ立県あきた」宣言が、スポーツ秋田の再建とスポーツによる県勢発展につながるよう、県民に対するスポーツ振興の担い手としての役割と責任を自覚し、新たな視点から次のとおり各スポーツ振興事業の企画・推進に主体的に取り組む。

◆ 推 進 事 業

1 競技スポーツ振興事業

(1) 県競技力向上対策事業

ア 指導体制の確立

① アドバイザーコーチの活用

13競技18名を活用（H22 15競技25名）

イ 選手の育成強化

スポーツ王国秋田の実現を旨として、県、教育庁及び県体育協会の三者による「秋田県競技力向上連絡協議会」が設置され、高校拠点校や一貫指導体制の構築などについて意見交換（4回）

① 秋田県高等学校強化拠点校制度の活用

前年度指定16競技24校（学校統合による）の継続強化
新規指定なし

拠点校監督研修会の開催

② テクニカルアドバイザーの活用

10名を強化拠点校、強化拠点地区に配置

③ 秋田県中学生強化選手制度の導入（新規事業）

12競技143名を指定

④ 社会人スポーツ組織の充実

強化チーム3競技6チーム（H22 3競技6チーム）

ウ 諸条件の整備・充実

① 練習環境の整備・充実

県有体育施設の有効活用

② 顕彰制度・支援活動の充実

秋田県スポーツ賞を通じた選手の意識高揚（6 顕彰事業に詳細）

エ スポーツ医科学の活用

① 国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

国体選手へ問診票の発送・回収

ドクター・薬剤師によるチェックとアドバイス

② 国体への帯同ドクターの派遣

本大会4名 冬季大会（スケート）1名 冬季大会（スキー）2名

③ ドーピング防止教育・啓発事業の推進

国体事前ドーピング防止講習会の開催 平成23年9月6日（火）

講師 県体育協会副会長 湊 昭策 氏

ドーピング防止研修会の開催 平成23年11月6日（日）

講師 県体育協会スポーツ医科学委員会 鳥海 良寛 氏

- (2) 加盟競技団体のガバナンス確立の支援・指導
- ・加盟団体事務局会議等における会計指導の実施
 - ・加盟団体の要請を受け、監事・役員の派遣
 - ・「公益財団法人秋田県体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」の制定(平成24年4月1日制定)

- (3) 東北総体、国体等への選手団派遣

ア 第38回東北総合体育大会(宮城県他)

8月26日(金)～8月28日(日)

※主会期 エントリー数33競技 700名

イ 第66回国民体育大会(山口県)

10月1日(土)～10月11日(火)

※本大会 エントリー数36競技 394名

結果 天皇杯19位(971.0点) 皇后杯27位(476.0点)

ウ 第67回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会(岐阜県・愛知県)

平成24年1月27日(金)～1月31日(火)

スピード競技のみ出場 エントリー数8名

結果 天皇杯26位(26点) 皇后杯20位(10点)

エ 第67回国民体育大会スキー競技会(岐阜県)

平成24年2月14日(火)～2月17日(金)

エントリー数75名

結果 天皇杯4位(128.5点) 皇后杯1位(54.5点)

(3年連続4度目)

冬季大会総合成績

結果 天皇杯8位(154.5点) 皇后杯8位(64.5点)

- (4) 第62回県民体育大会(41競技)

39競技9628名(中止2競技)

2 生涯スポーツ振興事業

- (1) 総合型地域スポーツクラブの普及及び創設並びに活動支援

ア 創設支援、自立支援クラブ現地ヒアリング

創設支援クラブ11、自立支援クラブ17

イ 秋田県広域スポーツセンター事業

- ・秋田県総合型クラブ連絡協議会運営委員会の開催

①第1回 4月28日(木) 秋田県スポーツ科学センター

②第2回 9月21日(水) 秋田県スポーツ科学センター

③第3回 2月17日(金) 秋田県スポーツ科学センター

- ・秋田県総合型クラブサミットの開催

6月17日(金) ホテルメトロポリタン秋田

対象者 総合型クラブ関係者 参加者100名

講師 岩手大学教授 浅沼 道成 氏

- ・ 秋田県総合型クラブ地区交流会の開催
 - ① 県央地区 5月25日(水) 獅子が鼻湿原 参加者140名
 - ② 県南地区 11月6日(日) 横手市大森体育館 参加者100名
 - ③ 県北地区 2月5日(日) 能代市二ツ井総合体育館 参加者100名
- ・ 秋田県総合型クラブ全県交流大会(8人制バレーボール大会)
 - 11月19日(土) 横手市横手体育館 参加者200名
- ウ 住民総参加型「チャレンジデー」の開催
 - 5月25日(水) 2市3町1村6地区で実施
- (2) スポーツ指導者養成事業
 - ア 日本体育協会公認指導員養成講習会(1競技1コース)
 - ・ バドミントン競技(17名受講)
 - イ スポーツ指導者研修会の開催
 - 第1回 5月22日(日) シャインプラザ平安閣秋田 参加者76名
 - 第2回 11月26日(土) 協働大町ビル 参加者80名
- (3) 日本スポーツマスターズへの選手団の参加(石川県)
 - テニス・バレーボール・バスケットボール・軟式野球・空手道・ゴルフボウリング(7競技)
- (4) スポーツ少年団の活動推進事業
 - ア 県内交流大会
 - ・ 第48回秋田県スポーツ少年大会(由利本荘市)
 - ・ 第34回秋田県スポーツ少年団大会(各地 9種目)
 - サッカー・柔道・軟式野球・バレーボール・水泳・ラグビー・卓球
 - スキー・ミニバスケットボール
 - イ 東北交流大会
 - ・ 第42回東北ブロックスポーツ少年大会(山形県) 中止
 - ・ 東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会(4種目)
 - サッカー・軟式野球・柔道・ミニバスケットボール
 - ウ 日独スポーツ交流事業(受け入れ:北秋田市) 中止
 - エ 日韓青少年冬季スポーツ交流事業(視察員の派遣 韓国及び受入地の新潟)

3 障害者スポーツの支援

- (1) 障害者スポーツ大会支援及び関係団体との連携協力
 - 障害者スポーツ団体の会議及び大会への出席

4 講習会・研修会等の開催

- (1) 日本体育協会公認指導員・上級指導員養成講習会(1競技1コース)
 - バドミントン(公認指導員) (2(2)スポーツ指導者養成事業の再掲)

- (2) スポーツ指導者研修会「スポーツ傷害防止事業」
2回実施 (2(2)スポーツ指導者養成事業の再掲)
- (3) スポーツ少年団認定員養成講習会
11回 1182名参加
- (4) スポーツ少年団認定育成員研修会
2回 19名参加
- (5) スポーツ少年団認定員等再研修会
**3回 485名参加 (内、1回119名はスポーツ少年団指導者研究協
議会を兼ねて実施)**

5 広報事業

- (1) 機関誌「スポーツ秋田」(年3回 各2, 200部)
169号・170号・171号
- (2) 機関誌「スポーツ少年秋田」(年2回 各2, 800部
秋田県スポーツ少年団)
61号・62号
- (3) 「スポーツ行事予定」 (年1回 1, 300部)
6月発刊
- (4) 県体育協会ホームページによる情報発信
選手強化事業(各大会結果含む)・スポーツ医科学情報発信

6 顕彰事業

- (1) 秋田県スポーツ賞
**功労賞5名、榮譽賞5名、国際奨励賞1名、優秀指導者賞3名、
生涯スポーツ賞個人3名 団体 1団体
栄光賞個人 35名、団体 11団体
奨励賞個人 20名、団体 4団体
(※生涯スポーツ賞を新設)**
- (2) 人見スポーツ賞
**個人の部 門間順輝(城東消防署)レスリング競技
団体の部 秋田県スキー連盟 女子総合**
- (3) 畠沢国体賞
**個人の部 渋谷 志(秋田中央警察署)ライフル射撃競技
金子未里(秋田いすゞ自動車(株))スキー競技
団体の部 フェンシング競技 成年男子チーム、少年女子チーム**
- (4) 辻ジュニアスポーツ大賞
個人の部 高橋駿平(泉中学校)ライフル射撃競技

7 人見スポーツ傷害基金事業

- (1) 傷害防止対策事業
秋田県スポーツ指導者協議会へ委託し研修会を開催(2回)
(2(2)スポーツ指導者養成事業の再掲)
- (2) 死亡弔慰金の給付
該当なし
- (3) スポーツ障害者に対するカウンセリング
該当なし

8 財政基盤の確立

- (1) 賛助会員の募集
法人 116団体
個人 32名
- (2) 寄付金の募集
役員 40名
法人 1団体
- (3) スポーツ活動支援事業(自動販売機事業)
スポーツ科学センター他17施設91台設置

9 公益財団法人への移行の認定申請の取組

平成23年10月までの取り組み

具体的申請書類の検討と定款等各種規程(案)の検討、並びにこれらについて秋田県と事前協議

平成23年11月11日	秋田県へ公益財団法人移行認定申請書を提出
平成24年3月13日	秋田県公益認定等委員会の答申があり、認定の基準に適合すると認められる
平成24年3月21日	秋田県から公益財団法人としての認定を受ける
平成24年4月1日	秋田県地方法務局への移行登記